

インフルエンザ(2025 年第 40 週)疫学情報

《コメント》

2025 年第 40 週の定点当たり報告数は 1.56(患者報告数 6,013)となり、前週の定点当たり報告数 1.04 よりも増加した。都道府県別では沖縄県(12.18)、東京都(3.30)、宮崎県(2.89)、神奈川県(2.47)、千葉県(2.36)、埼玉県(2.16)、茨城県(2.07)、福岡県(1.98)、大阪府(1.66)、京都府(1.56)、島根県(1.50)、大分県(1.45)、長野県(1.40)、三重県(1.34)、鹿児島県(1.28)、奈良県(1.24)、福井県(1.23)、岐阜県(1.07)の順となった。全国 47 都道府県中、36 都道府県では前週の報告数よりも増加し、8 都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は 93 例であり、前週(46 例)から増加した。26 都道府県から報告があり、年齢別では 1 歳未満(8 例)、1～4 歳(16 例)、5～9 歳(13 例)、10 代(7 例)、20 代(3 例)、30 代(1 例)、40 代(1 例)、50 代(1 例)、60 代(4 例)、70 代(15 例)、80 歳以上(24 例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近 5 週間(2025 年第 36 週～2025 年第 40 週)では、AH3 亜型が 27 件(71%)、AH1pdm09 が 10 件(26%)、B 型が 1 件(3%)の順であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト([https://idw-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html](https://idw.info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html))を参照されたい。